

千葉県野球協会特別規則

この規則は、別に定める規則を除き、本協会が主催する大会の全ての試合に適用する。

1	監督または主将(少年・学童は監督と主将。)は、第一試合を除き前試合4回終了後、直ちに大会本部が用意するオーダー表を提出してください。
2	打順表の記入方法 (1)登録された者の全員を記入する。なお、参加選手が10名以上いることの確認のため、当日不参加者選手の氏名左に<レ>を付記する。 (2)指名打者制を採用の場合、指名打者の守備欄に<DH>、先発投手は所定の場所に各々記入する。
3	登録されたユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番および選手10名以上20名以内と、チーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)各1名とする。ただし、監督、コーチは成人でなければならない。 なお、学童については介護員2名以内を認める。
4	正式試合 正式試合になる回数は、5回とする。
5	得点差によるコールドゲームの適用 (1)9回戦・・・ゲーム中において、5回を終了して10点差が生じた場合及びゲーム中において、7回を終了して7点差が生じた場合。〈二段階制〉 (2)7回戦・・・ゲーム中において、5回を終了して7点差が生じた場合。
6	投手の投球制限(学童) 学童について、投手の投球回数は1試合5インニング(15アウト)とする。
7	延長戦 (1)天皇賜杯・国民体育大会の場合、12回までとする。 (2)天皇賜杯・国民体育大会以外の場合、延長戦を行わず直ちに特別延長戦とする。
8	試合時間 (1)一般、7回戦の場合、2時間30分としこれを越えた場合新しいインニングに入らない。 (2)少年、1時間45分としこれを越えた場合新しいインニングに入らない。 (3)学童、1時間30分としこれを越えた場合新しいインニングに入らない。
9	次の試合のバッテリーは、競技場内ブルペンの使用を認める。 (1)前の試合の5回終了後 (2)先発バッテリーのみ、捕手は防具を着用 (3)試合中チームの使用を優先